

2015年2月23日
株式会社日立製作所

住信 SBI ネット銀行の外貨預金取引システムを構築し、稼働開始

株式会社日立製作所(執行役社長兼 COO:東原 敏昭/以下、日立)は、このたび、住信 SBI ネット銀行株式会社(代表取締役社長:円山 法昭/以下、住信 SBI ネット銀行)の外貨預金取引システムを構築しました。本システムは、2月16日から稼働開始しています。

本システムは、住信 SBI ネット銀行のお客さま向けに、為替レートの配信および外貨預金取引の約定処理を行うものです。具体的には、住信 SBI ネット銀行の法人・個人のお客さま向けに 24 時間*、為替レートを配信するとともに、外貨普通預金や外貨定期預金用の外貨の購入・売却注文の受注処理を行い、取引時の為替レートと注文価格の取引条件が合致した場合、約定処理を行います。また、住信 SBI ネット銀行から、取引先の金融機関に対して外貨の購入・売却の注文を行い、取引条件が合致した場合、約定処理を行います。

* 毎週土曜日 7:00(米国ニューヨーク市のサマータイム実施時間は 6:00)から月曜日 7:30、および 1 月 1 日を除く。

今回のシステム構築では、従来別の拠点に設置していた本システムを勘定系システム・Web システムと同一のデータセンター内に設置し、システム運用・保守の効率化を図りました。また、本システムは、24 時間の為替レート配信や約定処理を実現するため、高い信頼性と性能を備えた構成となっています。さらに、遠隔地にバックアップセンターを設置することで、災害時やシステム障害時の業務継続性も確保しています。これらにより、住信 SBI ネット銀行は、お客さまへのより安全・安心なサービスの提供を実現します。

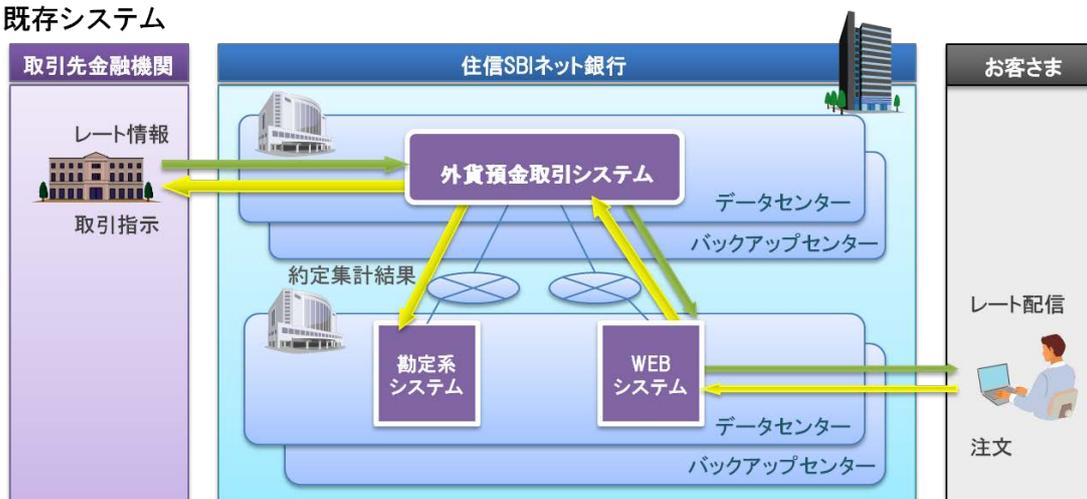
日立は今後も、本システムをはじめ、金融機関向けのシステムソリューションをトータルに提供し、金融機関におけるサービス向上を支援していきます。

■本システムの構成について

本システムは、日立のブレードサーバ「BladeSymphony」、ユニファイドストレージ「Hitachi Unified Storage 100 シリーズ」など最新のハードウェア群を用いて、日立の豊富なシステム構築の経験やノウハウを活用し構築しており、高い信頼性や性能を備えた構成となっています。あわせて、サーバ OS も従来の Windows Server® 2003 R2 から Windows Server® 2008 R2 へ移行しています。さらに、遠隔地にバックアップセンターも備え、住信 SBI ネット銀行の安全・安心なオンライン取引を支えています。

■本システムの全体図

既存システム



新システム



■日立の金融ソリューションに関する Web サイト

<http://www.hitachi.co.jp/finance/>

■商標に関する表示

- Windows Server は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標または商標です。
- その他、記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標または登録商標です。

■本件に関するお問い合わせ先

株式会社日立製作所 情報・通信システム社 金融システム営業統括本部 [担当:小清水]
 〒100-8220 東京都千代田区丸の内一丁目 6 番 1 号
 お問い合わせ先:<http://www.hitachi.co.jp/finance-inq/>

以上

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
